

**認定こども園桑園幼稚園 2026年度 全体的な計画 (教育課程)**

事業の目的	子どもの健やかな成長のために、認定こども園教育・保育要領並びにキリスト教保育指針に基づき教育・保育を行うことを目的とします	保育方針	乳幼児期は人生の基礎を培う大切な時であると考え、主イエスキリストに導かれ、感謝と喜びをもって幼子を愛し、育ちを支える保育を行います
保育理念	ともに育ち ともに生きる ～神さまとともに 保育者とともに なかまとともに すべての人々とともに～	園の保育目標	自分を愛し、神さまと人を愛する子ども
主題聖句	いつも喜んでいなさい 絶えず祈りなさい どんなことにも感謝しなさい	大切にしたい保育内容	・遊びを大切にしたい保育 ・子ども一人ひとりの育ちを大切にしたい保育 ・子どもが主体的に生活できる保育 ・異年齢が関わり合って生活する保育
保育・教育時間	◎1号認定: 基本保育時間 8:30～14:00(月～木) 8:30～11:40(金) 1号認定預かり保育 7:00～8:30 14:00(金のみ 11:40)～18:00 延長保育 18:00～19:00 土曜預かり保育 8:00～18:00 ◎2・3号認定: 標準認定時間 7:00～18:00 短時間認定時間 8:30～16:30 延長保育 標準認定 18:00～19:00 短時間認定 7:00～8:30、16:30～19:00		
年主題	しゅイエスとともに	年主題聖句	主があなたと主におられる ルカによる福音書1章28節
子どもの保育目標	0歳児	子どもの保育目標	3歳児
	1歳児		4歳児
	2・満3歳児		5歳児

保育の願いと内容(幼保連携型認定こども園教育保育要領・キリスト教保育指針をもとに)

年齢	0歳児	1歳児	2・満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小学校との連携
養護	生命の維持	・一人ひとりの生活リズムを大切に、生理的欲求に应答的な関わりの中で丁寧に対応する	・家庭と協力しながら、それぞれの育ちにふさわしい生活リズムを形成していく	・安心できる生活環境の中で、自分のことを自分でしようとする気持ちを育み、期待をもって生活する	・健康な生活習慣に気づき、身に付けられるよう、できることを認め支えていく	・健康、安全な生活に必要な生活習慣に自ら気づき、考えながら行動、生活できるようにする	・健康で安全な生活習慣を身につけ、見通しをもって自ら行動できるようにする
	情緒の安定	・保育者とのふれあいやかわりの中で、愛着関係と基本的な信頼関係を育む	・子どもの思いに共感し、温かな語りかけやスキンシップの中で、安心して生活できるようにする	・一人ひとりの思いを受け止め、共感しながら自我の育ちを支えていく	・一人ひとりの気持ちを受け止め、自らの思いを發揮して行動し、充実した生活が送れるよう支えていく	・保育者との信頼関係の中で自己肯定感を育み、周りの人を受け止めともに過ごそうとする気持ちを育てる	・主体的な遊びや生活の中で自己肯定感を育み、仲間を認め合い信頼しあい、喜んで生活する
教育及び保育	「こころよく」 ・安心できる落ち着いた環境の中で生理的欲求を満ちし、心地よいと感じる中で生活をする ・保育者との愛情豊かなかわりの中で愛着関係を育み、基本的な信頼感を獲得していく ・周囲の人に興味や関心を示し、関わろうとする ・身近なものに興味や好奇心を持ち、五感を使って確かめ楽しむ。	「おもしろい」 ・保育者との関係を基盤に、身近な人と関わる喜びを感じる ・身の回りのことを保育者と一緒に行うようとする気持ちが芽生える ・自分の思い、したいことやしてほしいことを伝える ・身近な自然に興味を持ち、探察して遊ぶ ・保育者との応答を心地よく嬉しく感じ生活や遊びを楽しむ。 ・生活の中で様々なものに触れ、刺激を受け、心ゆくまで関わり楽しむ ・それぞれの生活リズムを大切にしながら園生活を送る ・保育者の祈りや讃美歌を喜ぶ	「やってみよう」 ・保育者に気持ちを受け止められ、安心して自分の興味や関心を広げている ・保育者や友だちと一緒に祈り、生活する喜びを感じる ・身近な自然や出来事に興味や関心を持ち、自分から関わろうとする ・自分の思いや経験を、身振りを加えながら言葉で表現しやり取りをする。 ・自我の育ちとともに、自分の思いを出しながら、思い通りにいかないことがあることにも気づく ・経験した出来事や遊びを通して、イメージを広げたり深めたりする ・保育者と祈り、讃美歌をうたう	「自分で」 ・ありのままの自分を表現し、保育者に受け止められて過ごす。 ・基本的な生活の流れがわかり、自分でできることは自分でしようとする ・自分の思いや感情を表現しながら、保育者の援助のもと、友だちの思いにも気持ちを向ける ・身近な環境に触れ、興味や関心、親しみをもって関わり、気づいたり不思議に感じたりすることで、自ら関わろうとする ・経験したこと、感じたことを言葉や様々な表現で伝えようとする ・言葉やしぐさ、小道具などを用いて友だちとイメージを共有し、なりきって遊ぶ ・イエスさまを身近に感じる	「友だちと」 ・様々な物事や自然に関心を持ち不思議さや畏敬の念を感じる。 ・これまでに得た知識や経験と結びつけながら、楽しんだり深めたりする ・様々な遊具や活動に挑戦し、全身を使いながら遊ぶ楽しさを感じる。 ・健康的な生活習慣や生活の場を整える必要性に気づき自ら取り組んでいく ・イメージや目的を共有し、工夫し遊びを展開させていく楽しさを味わう ・思い通りにならない葛藤も経験しながら、自分の思いと相手の思いどちらも大切にすることを養う ・友だちとイメージを共有しながら、活動することに喜びを感じる ・ともに祈り賛美することを喜ぶ	「ともに生きる」 ・自分も相手も大切に、周りの人より良く生活することを考え行動する ・友だちと協力して物事をやり遂げる経験を通し、他者とともに生きる喜びを感じる ・様々な物事に主体的に関わり、これまで経験した知識や技能も用いて遊びをより豊かにしていく ・友だちの持つそれぞれの良さや得意なことを認めあい、協力し心を通わせ合い表現することを楽しみ喜ぶ ・いろいろな素材に触れ、感じたことを工夫し表現する楽しさを味わう ・身近な友だち、人々はもちろん、世界の人々にも目を向け、その時の気持ちを祈りや讃美歌を歌うことで表す。	・スタートカリキュラムを理解し、幼児期の保育や育ちを小学校の先生に理解していただくためにも、幼保小連携協議会に参加し、意見交換や共有を行う ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)は園児の到達目標とするのではなく、保育の振り返りを行う上で大切に捉え、子どもの育ちを支える保育ができていくかどうかを考え、その子の良さ、その子らしさを大切に、小学校との引継ぎを行う。 ・近隣の小学校への保育公開や参観、行事への参加などを行うとともに、園生活を理解していただくために、積極的に近隣の小学校へも保育公開等の働きかけを行う。 ・連絡会の活用や必要に応じて保護者も含めた三者での共有や、必要に応じて支援員にコーディネートを依頼した話し合いなどを検討する。 ・卒園後も小学校と幼稚園が協力しあい、園児の育ちを支えられるような体制づくりを行う。
食育	・一人ひとりの生活のリズムの感覚を大切に、ゆったり穏やかな雰囲気の中で乳を飲み、発達に合わせて離乳食を開始し、食べる意欲と喜びを育む	・子どもの育ちや家庭での食事の様子などとも照らし合わせ、時間や量など柔軟に対応し、食べる意欲と喜びを育む	・友だちや保育者と食事を楽しむ ・子どもの育ちや家庭での食事の様子なども考慮しながら楽しく喜んで食事ができるよう援助する	・好きな友だちや気の合う仲間と会話を楽しみながら感謝して食事をする ・食事のマナーや食具の使い方に気づいていく	・神さまが与えてくださる恵みに感謝し、作ってくださる方にも思いを寄せる ・食具の正しい使い方を身につけて、楽しく食事をするを喜び	・神さまが恵みを与え、私たちが育ててくださることに感謝する ・畑の野菜作りや調理する楽しさを感じるを通して食の喜びを深める ・食事と健康の関係に関心を持つ	
健康支援及び環境・衛生管理	・毎日の視診、心身状態や家庭生活、養育状況の把握 ・子ども及び職員の清潔保持 ・年2回の園医による内科検診と、年1回の園歯科医による歯科検診(園児) ・異常が認められた時の適切な対応 ・年1回の職員健康診断と月一回の対象者の検便 ・年2回の学校薬剤師による環境検査 ・毎日の清掃及び消毒			保護者支援、子育て支援 地域支援		・たんぼぼ広場(未就園親子の集い) ・子育て相談(在園保護者、地域対象) ・子育て講演会(在園保護者及び地域、子育て支援関係者対象) ・月のつどい(年4回在園保護者対象) ・ぶどうの会(年4回 在園卒園保護者対象)・クリスマスのつどい(在園親子、地域の子育て中の家庭、地域のすべての方対象、教会と共催) ・一般型一時預かり保育の実施	
安全対策	・火災のための避難訓練(年2回) ・北海道シェイクアウト参加による地震に備える訓練(9月) ・水害発生時の避難訓練(年1回) ・交通安全教室(6月・11月) ・救命救急講習 ・安全管理及び事故防止マニュアルの定期的な見直しと保育者、職員への徹底			自己評価		・保育者の自己評価 ・不適切保育チェックリスト ・自己評価に基づく施設関係者評価と評価内容の公表	